

SOAPING NEWS

SOAPING NEWS FROM AROUND THE WORLD

NOVEMBER 12, 2021

FEATURED
THIS WEEK:

松崎ひさ子
日本デザイン石けん協会 代表理事

[Japan Design Soap Association](#)
[Instagram](#)
[YouTube](#)
[TikTok](#)



松崎ひさ子

By Eva Gomez

今回のインタビューは、JDSA（日本デザイン石けん協会）代表理事の松崎ひさ子さん。彼女は協会運営だけでなく、Instagram、TikTok、YouTube等でも活躍されています。彼女の作る透明感溢れるデザイン石けんやコールドプロセスソーブは心を奪われるほどの美しさ。今回は、そんなひさ子さんをゲストにお迎えします。



いつから石けん作りを始めたのですか？

私の最初の石けん作りは約10年前、ちょうど長男を出産した頃です。初めての妊娠だったので、妊娠中は身体に優しいもの、アロマセラピー、食べ物について等、何が赤ちゃんにとって良いのかと探るべく沢山の本を読みました。色々興味を惹かれるものはあったのですが、その中でもアロマセラピーが一番興味をもち、アロマセラピーが手作り石けんに応用できることを初めて知ったのです。それまで、石けんが手作りできるなんて知りませんでした。

実は、長男は産まれた時から肌が弱く、肌トラブルが多くて悩んでばかりでした。だから、そんな長男の為に肌に優しい石けんを作ってみようとして試したのが始まりです。初めて作ったのは苛性カリ（水酸カリウム）を使ったリキッドソープ。それ以来、石けん作りが大変はまって、コールドプロセス石けんやM&Pソープについて学び、作り始めました。

自分で作った石けんは日本で販売しているのでしょうか？それとも石けん講師として活躍しているのですか？

実は、個人で作った石けんは日本の薬機法では規制があり簡単に販売することはできません。認可された施設で作る必要があります。認可を受けるにはその場所が適しているのか検査もあります。OEMで製造を依頼し、販売することもできますが、家で自ら作った手作り石鹸を販売できるわけではないのです。

だから、私は石けん講師として石けん作りを教えることをメインとしています。

対面レッスン、オンラインレッスン、

ワークショップ等で自分の知識を皆さんにお届けしています。コロナ渦になってからは、オンラインレッスンで教える機会が増え、日本各地の新しい生徒様に巡り会える機会が多くなりました。

私がいつも考えていることは、生徒様のことです。特に初心者や小さな子供たちがどうやったら楽しんで石けん作りができるかということを中心に頭に置いています。私の石けん作りを通して、多くの人が楽しい生活を送れるきっかけになればいいなと願っています。

日本デザイン石けん協会（JDSA）の創設者、代表理事を務めていらっしゃるようですが、JDSAについて教えてください。

私がJDSAを設立したのは2017年のことです。それまでは、個人で石けん講師として活動していましたが、2015年から始めた資格取得制度がとても人気だったため、より幅広い活躍ができるようにと法人化しました。

JDSAを設立した理由は上記のほか、もう一つあります。それは、育児しながらでも働きたいという女性を応援したいという思いからです。日本では、多くの女性が育児しながら仕事を続けることに困難を感じたり、退職したり、再就職が困難になってしまう状況があります。保育園が見つからない、ベビーシッター等の預け先が見つからない（日本にベビーシッター・ナニー文化はありませんよね！）...等々理由は様々。実のところ私も、長男出産後に仕事を退職した一人です。それまでは、会社員として働いていたのですが。だから、私はJDSAを通して、このような女性達に活躍の場を提供し支援したいという強い思いがあるのです。

ひさ子さんはJDSAの認定講師でもありますが、JDSAの資格を取るメリットについて教えてください。また、ひさ子さんのレッスンは海外からの受講も可能ですか？

資格取得のメリットについて説明します。宝石石けん、アイ



スキャンディーソープ等沢山の種類の資格がありますが、認定講師の資格を持っていると、自分の教室で同じメニューを教えることができ、また資格を取りたい人向けの資格取得コースを開講することができます。もちろん、海外からでも受講可能です。通訳を用意していただければ対応します。JDSAには英語を話すスタッフもいるので、もし興味があれば相談してくださいね。

ひさ子さんのinstagram等を見ていると、透明な石けんがとても多くて、中でもアミノ酸石鹸が特に素晴らしいですね。そのアミノ酸石鹸について教えてください。

アミノ酸石鹸には2つの特徴があります。1つ目は、弱酸性なこと。私たちの肌も弱酸性（pH4.5~6.0）であり、とても肌に優しい石けんなのです。そして2つ目は、透明感が他の石けんに比べて一番美しく、クリスタルのような輝きを放つことです。実は、このアミノ酸石鹸のレシピを完成させるために、約1年間研究をしました。簡単ではありません。透明感、加工のしやすさ、原材料について、海外から材料を取り寄せしては何度も何度も試作しました。だから非常に時間がかかりましたが、結果としては満足のできるレシピを作り上げることができたのです。

現在、アミノ酸石鹸のベースはオンラインショップで販売しています。また、アミノ酸石鹸の作り方やレシピはコンプリートガイドとして販売しています。英語版もありますよ。近頃は海外からの注文も増えており、この経験はJDSAにとって初めてのことなので本当に嬉しく感じています。

ひさ子さんはアメリカのソープチャレンジクラブ（毎月オンライン上で行われる手作り石けんのコンペティション）のレギュラーメンバーでもあります。ソープチャレンジクラブから学んだテクニックで一番好きなものはどれですか？

お気に入りには2021年9月に学んだ透明石けんの作り方、そして粘土石鹸、クリームレシピなどです。ソープチャレンジクラブの魅力は、世界中のソーパー（手作り石けんをする人たち）と繋がれること、また、石けん作りの技法やデザインを学べるだけでなく、自分自身に挑戦できることです。常に挑戦し続けることは何よりも大事と信じています。

コールドプロセス石けんも作っていますが、コールドプロセス石けんと透明石けん（M&Pソープ、アミノ酸石鹸）のうち、どれが一番肌に優しいですか？どれも肌に優しいのですが、アミノ酸石鹸が一番肌に優しいのかなと思います。もちろんコールドプロセス石けんも、自然の原料で作られているので肌に優しいと世界中で知られていますね。洗浄力も良く、肌にも優しい。でも、アミノ酸石鹸のpHは人間の肌が一番近く、基本となるアミノ酸は肌の天然保湿成分因子でもあります。だから、アミノ酸石鹸の触り心地は滑らかで保湿に非常に優れています。



私はひさ子さんのTikTokのファンなのですが、どうやってアイデアが浮かんでくるのでしょうか？

見てくださってありがとうございます！

私は石けん業界だけでなく、それ以外の業界で流行っていることに常に目を向けています。自分の世界に留まらず、常に広い視野を持って、多くの人々が何が好きかということに興味を持つことが大切だと考えています。そしてそれを自分の「石けん」という世界に取り込んでいるのです。

流行りや食べ物、100円ショップなどからアイデアが浮かぶこともあります。皆が好きなものからアイデアを取り入れると、親近感を得られるかなと考えています。そこに自分らしさをプラスしています。

お気に入りのテクニックを教えてください！

いい質問です！1つだけ選ぶのは難しいのですが、宝石石けんを作り始めて以来、透明感を作り出すことが大好きです。宝石石けんが素晴らしい透明感を放った時、本物の宝石を作り出せたかのような気分になります。透明感を生み出すために、マーブル模様を取り入れたり、パーツをつなぎ合わせたり様々なテクニックを使っています。

私の多くのテクニックは、YouTubeチャンネルにて公開しています。どうしたら多くの人々が簡単にできる新しいテクニックを生み出せるのか？と常に考えています。

石けん作り以外では、時間のある時はどうやって過ごしていますか？

本を読んだり気分転換に音楽を聴くことが多いですね。アートの本、料理本、ビジネスに役立つブランディングや集客、ウェブサイトについての本など。読書から得られることは多いです。

そして、私には3人の息子がいるので、お絵かきしたり、色塗りしたり、工作したりして時間を過ごします。実は、子供たちと過ごす時間からアイデアが浮かぶことが多いのです。子供の想像力は、大人の頭からは思いつかないようなことが沢山あるので、息子たちに感謝したいくらい色々刺激をもらっています。

私は、石けん作りを通して多くの人を幸せにしたいので、私自身が感じた幸せな瞬間を忘れないようにと考えています。幸せな瞬間は私たちの生活の中で一番尊い時間だし、この幸せな瞬間を私の石けん作りの中に作り出していきたいなと思います。

Thanks so much Hisako!

ひさ子さん、ありがとうございました！



